

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）  
令和六年四月十三日発行（毎月一回十三日発行）  
定価 五〇〇円

第991号

龍

跳

第八十卷

5

月号

高知  
龍跳書道会

竹村子雀書

松涛忽ち卷く三更の雨  
林頼俄に驚く六月の秋

子雀

松涛忽ち卷く三更の雨  
林頼俄に驚く六月の秋

薦季直表

鍾繇

衣食不充臣愚欲望聖德錄其舊勳  
矜其老困復俾一州俾圖報効直力  
乘尚壯必能夙夜保養人民臣受國家  
異恩不敢雷同見事不言手犯宸嚴臣

衣食不充臣愚欲望聖德錄其舊勳矜其老困復俾一州俾圖報効直力氣尚壯必能夙夜保養人民臣受國家異恩不敢雷同見事不言手犯宸嚴臣

## 鐘繇と薦季直表

漢末から魏晉へかけて楷書が成立する時期に現れた鐘繇は、王羲之、張芝などと共にその書品は古来最高のものとして尊ばれてきた。薦季直表は、楷書と称されているが、隸書や行意が随所に見られ、それらが渾然と融合して、素朴で親近感をもちながらも、悠然とした中に力感が溢れ、よく安定し、やんわりとした弾力性の中に温かさ、なごやかさが秘められている。

岡崎 緑水 書

幽鳥喚春啼不那野梅迎客意先知

幽鳥喚春啼不那野梅迎客意先知

岡崎 緑水 書

野中 恵花 書

春風和月恒好

春風和月恒好

野中 恵花 書

梅  
川  
桂  
龍  
書

胡為君  
遠行

胡なんす為れぞ君えんす遠行する

4月20日縮切

梅川桂龍書

親朋盡  
一哭

親朋 しんぽう  
一哭を尽くし いっくをじんくし

福原曉雲書

雀有聲  
新晴燕

新晴燕雀の聲



福原曉雲臨

臣愚欲望聖德

臣愚欲望聖德

江西澄翠書

尚  
秀  
紅  
潤  
含  
宵  
露  
  
柳  
葉  
青  
韶  
來  
曉  
燭

岡林邦心臨

義之頓首表亂之極  
先墓再離荼毒追

邦心臨

岩 河 里 華 臨

教 廣 之 位 雖 不 盡 其  
神 奇 或 亦 相 耳

里 華 臨

浜 崎 洋 堂 臨

出 入 通 亦 以 玉 筆 治  
其 後 上 勤 心 矣

河 里 華 臨

庭有孤危佳之風兒  
常如事之忘伐

深瀬

深瀬緑堂

江、五洲霜氣清漫、不  
辨水天形何須織

水田

水田紅子

且夕暮已對教清  
和盡之心安是

大原

大原桂園

一簾疎雨琴公潤滿  
坐落於枕簟涼

市原

市原處艸

衆情似喜恨不頂而戴  
之是用有與道

鈴木

鈴木輝代

十七日先出部司  
未去即以得之

鎌倉

鎌倉春葉

館聞終暫病客藥囊  
暫別離賢席

伊吹

伊吹悠道

共携文學部並代信  
仁傳生心乃成

横田

横田紫秋

蜀中復少如也真行  
相向長史世間弟

明石

明石美桂

小圃能留客青冥不  
厭鴻秋帆尋賀老

山脇

山脇佳月

条幅当選作品 福原 曉 雲 選評

★天位

深瀬緑堂君⇨書譜臨、筆圧が良く利き流れよし。

水田紅子君⇨墨量の潤濁が利いて、落着いた作品。

大原桂園君⇨強い線質にて重量感有り。

市原處艸君⇨章法流れ良くとも素直な運筆リズムで  
いきたい。

鈴木輝代君⇨争座位にしたらやや一本調子か。

ボリュームが欲しい。

★地位

鎌倉春葉君⇨十七帖の特徴を良くマスターして線も

強い。

伊吹悠道君⇨難しい課題に取組んでいるが味わいあ  
る作。

横田紫秋君⇨伸々と書してはいるが筆力今一歩か。

★人位

明石美桂君⇨原帖を眼識で追求してから運筆して下

さい。

山脇佳月君⇨前者の課題と同じですので、同じ事と  
理解して下さい。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

4月の審査は21日(日曜)午前9時30分に開始  
します。審査会場は**高知城ホール**です。

※審査終了後、龍跳展下見会の予定です。

黒海  
潮流

中学一年課題  
廣末幽念書

田園都市

5月20日締切

習字



小学五年課題

隅田亘心書

の五

空月

5月20日縮切

九月

ぐ

小学三年課題  
大原桂園書

人形

5月20日縮切

あゆ

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋 女 書



5月20日締切

学校名	六 年	級 段	氏 名	あ	な	た	は	、	今	日	も	あ	な	た	で		
				て	と	つ	な	が	つ	て	い	る	の	で	す	。	
				あ	な	た	は	、	あ	な	た	以	外	の	す	べ	。
				の	な	い	存	在	で	す	。	と	同	時	に	、	。
	け	る	、	た	っ	た	一	つ	の	か	け	が	え	。			
	あ	り	、	明	日	も	あ	な	た	で	あ	り	続	。			
	あ	な	た	は	、	今	日	も	あ	な	た	で	。	。			

学校名										
五年										
級段										
氏名										

新聞には、さまざまな種類  
のニュースがのつています。  
新聞を読むと、社会で起きて  
いることへの興味が広がります。  
読み方を身につけて、生活  
や学習の中で生かしましょう。

学校名	井	え	話	乗	お	
	さ	、	し	せ	い	「
	ん	夏	か	た	で	こ
四	は	み	け	た	す	れ
年	、	か	ま	お	か	は
級	答	ん	し	客	か	、
段	え	で	た	の	。	レ
氏	ま	す	。	し	ほ	モ
名	し	よ	「	ん	り	ン
	た	よ	い	し	ば	の
	。	。	い	が	た	の
		松	い	、	で	に



小学三年課題  
野中恵花書

学校名	て	ユ	ず	け	に	
	い	ー	う	た	こ	野
	た	の	っ	り	う	ね
三年	の	雨	と	と	な	ず
	で	の		じ	ず	み
級段	し	音	と	た	い	た
氏名	た	に	く	り	て	ち
		っ	べ	し		は
		っ	つ	な		
		ま	メ	が	目	に
		れ	ニ	ら	を	こ
					開	

がっこう	う	た	休	じ	
	を	く	ま	く	た
二	お	さ	せ	を	ん
ねん	く	ん	て		ぽ
だ	り	の		し	ぽ
きゆう	ま		た	ず	は
なまえ	す	え	ね	か	
		い	に	に	花
		よ			と

がっこう				
一 ねん	お	う	お	あ
だ きゆう なまえ	き	み	ひ	さ
	だ	か	さ	の
	し	ら	ま	
	た			

がっこう				
ほねん	の	や	ち	す
	ぼ	ま	か	ぐ
だん きゆう なまえ	り	へ	く	
	ま		の	
	し			
	た。			

※去る三月二十四日の条幅作の勉強会は、とても有意義でした。

作品を書かれてない方の参加もあり、各々が気軽に感想を述べ合い、思い思いの批評もしてたいへん良い勉強会となりました。

次の機会には、ぜひご参加くださいますように。

訃報

長い間、本会にご尽力下さいました出間桂堂先生（元・龍跳書道会会長）が去る三月十六日にお亡くなりになりました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千円

★準師範以下一般 二千円

★学 生 一千円

（注意）申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。）

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

（申込先）ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一―七四二一

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一―一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一―一六

龍跳書道会 梅川桂龍

天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿
花道玄		智子		宏子玄		悠道玄		美邦玄		由利子玄	
天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿
信康玄		望子玄		心春		美邦玄		神枝玄		みさき	
天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿
美香玄		美草								志津	
天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿	天地	帶甲滿
悦枝君											

(一・二段目) 岡崎緑水 選評

恵花君 〓 厳しい線で気力充実の作。  
空仁君 〓 力味なく温和な作。

里華君 〓 重厚な線で存在感あり佳。  
智子君 〓 全体のまとまり良く、清潔感を感じる。

花道君 〓 筆の穂先が良く効き誠実な作。

宏子君 〓 強い線で迫力のある作。

(二・三段目) 岡林邦心 選評

悠道君 〓 気持ちよく書けて良い。  
世津君 〓 ていねいで良くまとめて佳。

星子君 〓 力強くて良い。  
佳月君 〓 伸び伸びとして良い。

心春君 〓 ていねいで力強い作。

(三・四段目) 西山極山 選評

美邦君 〓 整正にして安定している。  
倫子君 〓 ていねいな書きぶり好感がもてる。

美草君 〓 暖かい線に強さを感じる。  
美香君 〓 無理なく書して明るい作品

神枝君 〓 安定した書きぶりで落ちつきのある作品。

由利子君 〓 のびやかに書けて明るい。(四段目)

みさき君 〓 大きく書けて筆力を感じる。

志津君 〓 基本の点、画よくできている。

悦枝君 〓 線に太い、細いあり凛とした作品にみえる。

劉郡今 春風弄 戴巾  
直罷任 新陽 道高

後月法

走史生

移助

沖波法

聖崇仰 春風弄 不取物 聲白面

呵守

新陽

持刃

五郎年

走史生

加子美

美子信

加美山

首唱忠 亂之極 入佛 頭覆載

義憤

先墓

海利

以含生

走史生

加美山

加子信

志清法

劉郡今 春風弄 神融筆 劉郡今

直罷任

新陽

暢世

直罷任

加美山

走史生

加美子

加美山

潤色君 臺衆 用軍衣 善信

垂其仁

尊知

精宣

神德

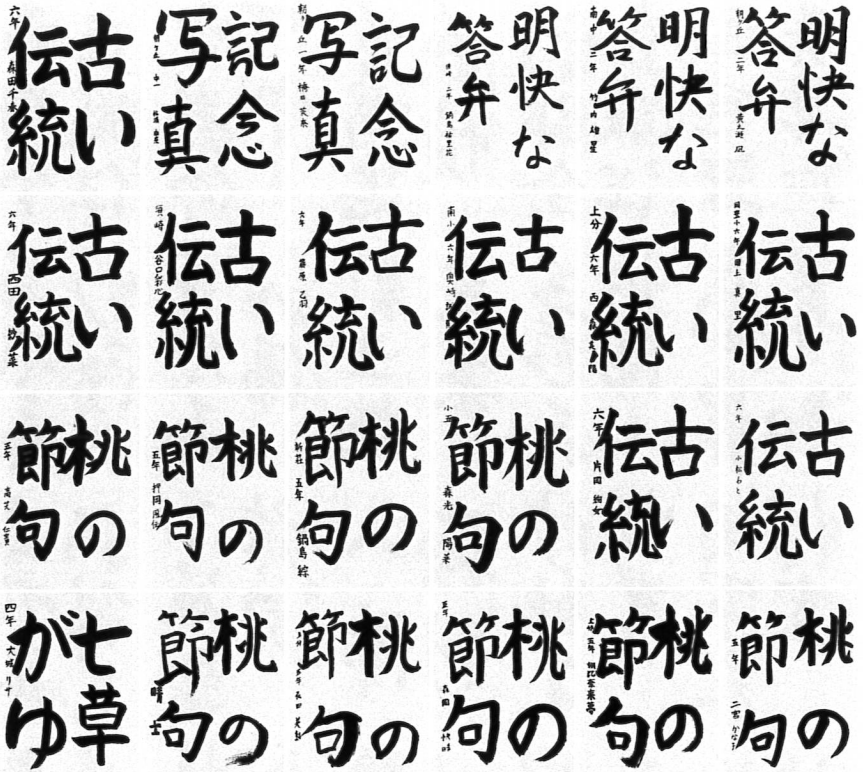
加美山

加美山

加美山

加美山

(一・二段目) 梅川桂龍 選評  
皓月君 字々終筆まで心のこもった臨、佳。  
幸仙君 達筆、力強く圧巻の作。  
里華君 一環性あり、この向上心を学びたい。  
竹山君 原帖の素朴さ悠然さを感じる。  
深美君 明るく落ち着きある臨書。  
孝北君 安定した運筆で大らかな作。(二・三段目) 廣末幽念 選評  
碧香君 動き大きく筆力あり。  
妙慧君 筆よく立ち明るい。  
多嘉君 無理なく運筆流れ良し。  
淳君 力みなく温和な作。  
啓助君 伸び伸びとして作品に変化ある。  
(三・四段目) 武内美仁 選評  
英子君 一紙を圧する作。見応えあり。  
倫子君 墨量多く、豊かな臨。  
紀美子君 流れ良く軽快な仕上がり。  
知加君 筆がよく動いて、字々の姿素晴らしい。  
伸枝君 字々明るく、力みなく良くまとめている。  
明美君 吊った線できびしさが良く出ている。  
(四段目)  
志津君 澄みきった線でよく伸びている。  
和世君 原帖の特徴を捉えて自分の物にしている。  
千賀君 ほどやかな線で好感がもてる。



(一段目) 中学部

大八木洋女 選評

凰 君 〓 柔らかな作品です。

雄星君 〓 軽快な作品です。

祐里花君 〓 楽しそうに書けています。

茉莉君 〓 しつかり書けています。

由奈君 〓 力強く書けています。

(一・二・三段目) 小学六年

千春君 〓 堂々書かれています。

真里君 〓 ていねいに書かれています。

美陽君 〓 立派に書かれています。

誠真君 〓 力強い線です。

乙羽君 〓 伸びやかに書けています。

彩心君 〓 しつかり書けています。

紗菜君 〓 のびのび書けています。

わと君 〓 しつかりと又美しいと思います。

絢女君 〓 伸び伸びと書かれています。

(三・四段目) 小学五年 奥堂皓月 選評

陽菜君 〓 力強くのびやかな作品。名前もていねい。

綜 君 〓 すっきりと明るく書けています。

風佳君 〓 気持ちよく書けています。

仁貴君 〓 ていねいにまとまっています。

嘉奈子君 〓 のびやかなまじめな作品。

来夢君 〓 元気で勢いよく書けています。

快晴君 〓 大らかでのびやかに書けています。

美結君 〓 まじめに書けています。「節」墨をもう少しつ

けて。

晴土君 〓 思いきりよく書けています。「の」あわてたか

な。

(四段目) 小学四年

リサ君 〓 のびのび書けています。 佐々木港花 選評





- (一・二段目) 小学四年  
百叶君 形整い気持ちがいいです。  
菜乃君 元氣よく書かれています。  
桜心君 のびのび元氣よく書かれています。  
香月君 元氣あり。
- ひなこ君 もう少し元氣に書くとうよくなります。  
蒼葉君 元氣あり。
- こころ君 落ち着いてすてきに書いてます。
- (二・三段目) 小学三年  
実咲君 いろいろな書けた良い作品です。  
朝陽君 大きくのびのびと書いています。  
美緒音君 素直によくまとまっています。  
碧空君 堂々と大きく書いています。  
けんご君 力まずのびやかに書いています。  
蒼馬君 元氣よく書いています。
- (三・四段目) 小学二年  
西森令泉 選評  
香花君 いろいろなじょうずに書いています。  
芳尚君 しっかりと明るく書いています。  
彩美君 すっきり形よく書いてますね。  
未来君 元氣よく書きましたね。  
心遙君 半紙いっぱい元氣に書きました。  
梨衣奈君 元氣があり線が力強いです。
- (四段目) 小学二年 とうち・ほいく 天野喜泉 選評  
すず君 いろいろなに良くかけています。  
れんたろう君 げんきよくまとまっています。  
いぶき君 ともげんきに掛けています。  
にこ君 のびのびと良くかけています。  
こな君 いろいろなでりつぽです。

硬 筆 優 秀 作 品

長岡 森田 千春  
久礼 中平 千友

これからは、海外でかつやくしたり、外国の人と接したりする機会も増えるだろう。そんなとき、日本語と外国語の、両方の言葉の大切さを実感すると思います。  
長岡小六・博望・森田 千春

これからは、海外でかつやくしたり、外国の人と接したりする機会も増えるだろう。そんなとき、日本語と外国語の、両方の言葉の大切さを実感すると思います。  
久礼 六・博望・中平 千友

これからは、海外でかつやくしたり、外国の人と接したりする機会も増えるだろう。そんなとき、日本語と外国語の、両方の言葉の大切さを実感すると思います。  
越知 六・九嶋・米澤 知那

これからは、海外でかつやくしたり、外国の人と接したりする機会も増えるだろう。そんなとき、日本語と外国語の、両方の言葉の大切さを実感すると思います。  
浦内 六・六嶋・寺田 澤

越知 米澤 知那  
浦ノ内 寺田 澤

上ノ加江 後藤まなか  
多ノ郷 森光 陽菜

これからは、海外でかつやくしたり、外国の人と接したりする機会も増えるだろう。そんなとき、日本語と外国語の、両方の言葉の大切さを実感すると思います。  
上ノ加江 六・四・四・後藤 まなか

ざしきをぬけて、すなはまに出てみると、お日さんがかかと照りつける夏だ。たお風がふきわたり、ざんぶりざんぶりと、波が寄せては返してお。た。  
多ノ郷 五・博望・森光 陽菜

ざしきをぬけて、すなはまに出てみると、お日さんがかかと照りつける夏だ。たお風がふきわたり、ざんぶりざんぶりと、波が寄せては返してお。た。  
久礼 五・八・八・濱田 奏

ざしきをぬけて、すなはまに出てみると、お日さんがかかと照りつける夏だ。たお風がふきわたり、ざんぶりざんぶりと、波が寄せては返してお。た。  
浦内 平 五・五・森田 大翔

久礼 濱田 奏  
浦ノ内 森田 大翔

須崎 川西 桜空  
大谷北 倉持 陽向

ざしきをぬけて、すなはまに出てみると、お日さんがかかと照りつける夏だ。たお風がふきわたり、ざんぶりざんぶりと、波が寄せては返してお。た。  
須崎 三・三・三・川西 桜空

ざしきをぬけて、すなはまに出てみると、お日さんがかかと照りつける夏だ。たお風がふきわたり、ざんぶりざんぶりと、波が寄せては返してお。た。  
大谷北 五・二・二・倉持 陽向

両手をポケットに入れて、女の子は進んでゆきました。石けりをしながら、女の子は橋をわたりました。キャベツ畑の細い道を通りました。  
上分 四・八・八・梅原 百叶

両手をポケットに入れて、女の子は進んでゆきました。石けりをしながら、女の子は橋をわたりました。キャベツ畑の細い道を通りました。  
須崎 四・七・七・松田 菜乃

上分 梅原 百叶  
須崎 松田 菜乃

長岡 北村さくら子  
上分 田邊 璃音

両手をポケットに入れて、女の子は進んでゆきました。石けりをしながら、女の子は橋をわたりました。キャベツ畑の細い道を通りました。  
長岡 四・六・六・北村 さくら子

両手をポケットに入れて、女の子は進んでゆきました。石けりをしながら、女の子は橋をわたりました。キャベツ畑の細い道を通りました。  
上分 四・五・五・田邊 璃音

両手をポケットに入れて、女の子は進んでゆきました。石けりをしながら、女の子は橋をわたりました。キャベツ畑の細い道を通りました。  
浦内 四・三・三・久保田 健介

モチモチの木。てのはな、豆太がつけた名前だ。小屋のすぐ前に立っている。で、かい木だ。秋になると、実を、いっぱいふり落としてくれる。  
長岡小三・七・七・森田 実咲

浦ノ内 久保田健介  
長岡 森田 実咲

硬筆優秀作品

佐古 田村 健悟  
須南 田中 碧空

モチモチの木、てのは  
な、豆太がつけた名前だ  
小屋のすぐ前に立っ  
る。で、かい木だ。秋に  
なると、実を、いっばい  
ふり落としてくれる。  
佐古小三、五歳、田村健悟

モチモチの木、てのは  
な、豆太がつけた名前だ  
小屋のすぐ前に立っ  
る。で、かい木だ。秋に  
なると、実を、いっばい  
ふり落としてくれる。  
須南三、四歳、田中碧空

モチモチの木、てのは  
な、豆太がつけた名前だ  
小屋のすぐ前に立っ  
る。で、かい木だ。秋に  
なると、実を、いっばい  
ふり落としてくれる。  
天谷北三、初歳、大木陽智

モチモチの木、てのは  
な、豆太がつけた名前だ  
小屋のすぐ前に立っ  
る。で、かい木だ。秋に  
なると、実を、いっばい  
ふり落としてくれる。  
池川小三、三歳、北村日和

大谷北 大木 陽智  
池川 北村 日和

浦ノ内 正木 芳尚  
すざき 田村 紗雪

楽しかったよ、  
二年生 心にのこっ  
たてきことを思い出  
して、書きましよう。  
文集に まとめて。  
浦ノ内二、五歳、正木芳尚

楽しかったよ、  
二年生 心にのこっ  
たてきことを思い出  
して、書きましよう。  
文集に まとめて。  
すざき二、五歳、田村紗雪

楽しかったよ、  
二年生 心にのこっ  
たてきことを思い出  
して、書きましよう。  
文集に まとめて。  
うらノ内二、三歳、木村代奈

楽しかったよ、  
二年生 心にのこっ  
たてきことを思い出  
して、書きましよう。  
文集に まとめて。  
多ノ内二、三歳、木村代奈

うらノ内 ふじ田いろは  
多ノ内 森光 梨衣奈

くれ 日林 ゆあ  
すざき 金どう すず

楽しかったよ、  
二年生 心にのこっ  
たてきことを思い出  
して、書きましよう。  
文集に まとめて。  
くれ二、三歳、日林ゆあ

山のような 大  
ばん 小ばんに  
ばあさまも びっ  
くりぎょうてん。  
すざき一、三歳、金どうすず

山のような 大  
ばん 小ばんに  
ばあさまも びっ  
くりぎょうてん。  
上か一、三歳、よしむらはるか

山のような 大  
ばん 小ばんに  
ばあさまも びっ  
くりぎょうてん。  
くれ一、三歳、よしむらはるか

上分 よしむらはるか  
くれ ころはら りか

すなん 田中 しんにこ  
池川 上村 しんぼ

山のような 大  
ばん 小ばんに  
ばあさまも びっ  
くりぎょうてん。  
すなん一、三歳、田中にこ

山のような 大  
ばん 小ばんに  
ばあさまも びっ  
くりぎょうてん。  
池川小一、三歳、上村しんぼ

おおきな  
こえで  
おには そと  
ふくは うち  
あそうは二、三歳、うめはらゆま

おおきな  
こえで  
おには そと  
ふくは うち  
あそうは二、三歳、うめはらゆま

あそう うめはらゆま  
うらノうち よしおかまひろ



出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。  
★臨書は出典名を記入のこと。

<p>★三級 山田 ○尾立千賀 ★六級 須南○西村小百合</p>	<p><b>随意</b></p>	<p>★師範 審査 梅川 桂龍</p>	<p>奥堂皓月 中平幸仙 岩河里華 岡山極山 西山林華 大原桂園 弘田賀峰 江西澄翠 岡本空仁 中平美峰 深瀬緑堂 野村容舟 河村恵花 大八木洋女 市原處艸 水田紅子 萩野羽花</p>	<p>岩崎竹山 吉田深美 戸田孝北 大野美賀 池田芳春 窪田碧泉 山本恵歩 大崎花梢 桑原智子 田崎紫陽 田村和子 高橋桜芳 山中紅風 西森令泉 天野喜泉 西村芳香 山川百合 藤原朱鳳 畝原和華 森光望春 松浦明子 大平圭子 平井桂草 西内仁子 丸田宏子 横山桂華 岡田雄山 山西春草 高橋朱鳥 氏原春葉 鎌倉美泉 井口花道 小野山美喜</p>	<p>★準師範 審査 廣末 幽念</p>	<p>★六級 坂本碧香 岡村妙慧 橋本祝子 岩谷紅花 浪上理奈 岩村祥 利谷喜子 松本世津 伊吹悠道 下元玉泉</p>
<p>★二級 川内みさ 小松悦枝 久保可奈 橋本和世 川崎志津</p>	<p>★一級 川崎志津 橋本和世 久保可奈 小松悦枝 川内みさ</p>	<p>★四段 西森啓助 滝下明美 高橋翠園 濱恵子 山崎隆志 濱田順子 岡本薫山 岡本美水</p>	<p>★五段 笠原多嘉 大井淳 岡林翠 鈴木輝代 濱田幸子</p>	<p>★初段 大原紀美子 金子知加 前田伸枝 西尾明美 市川美香 江西千裕 和田恵美 和由利子 井上由利子 松島利恵 山本房 掛水勝恵 藤原勝子</p>	<p>★二段 森澤美佑貴</p>	<p>★三段 武内 美仁 中澤英子 坪内倫子 西岡仁陽 杉本美邦 横田紫秋</p>
<p>★九段 朝ヶ丘 松浦由奈</p>	<p>★九段 朝ヶ丘 松浦由奈</p>	<p>★特待生 朝ヶ丘 橋田茉莉奈</p>	<p>★特待生 朝ヶ丘黄之瀬 風 南 竹内雄星 須崎 鍋島祐里花</p>	<p>★特待生 長岡 森田千春</p>	<p>★特待生 長岡 押岡風佳</p>	<p>★七段 岡上真里 西森美陽 奥崎誠真</p>
<p>★九段 須崎 谷口彩心 池川 藤原乙羽 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★七段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>
<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>
<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>
<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>
<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>	<p>★九段 須崎 藤原乙羽 池川 谷口彩心 須崎 西田紗菜 岡豊</p>

<p>毛筆四年</p> <p>審査 佐々木港花</p> <p>★八段</p> <p>多ノ郷 大城リサ</p> <p>★七段</p> <p>上分 梅原百叶 須崎 松田菜乃</p> <p>★六段</p> <p>須崎 谷口桜心 上分 小松希美 長岡 宮脇改太</p> <p>★五段</p> <p>池川 鶴井香月 長岡北村さくら子 岡豊 西宮咲希 多ノ郷 橋田天牙 岡豊 島村倅空</p> <p>★四段</p> <p>長岡 竹内陽南子 須崎 田村拓海 上分 田邊璃音 柳本稀衣</p>	<p>★三段</p> <p>吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽</p> <p>★二段</p> <p>岡豊 中司こころ</p> <p>★一級</p> <p>別府 後藤 樹</p> <p>毛筆三年</p> <p>審査 佐竹 江月</p> <p>★七段</p> <p>長岡 森田実咲</p> <p>★六段</p> <p>小高坂 川西康介</p> <p>★五段</p> <p>夜須 西村朝陽</p> <p>★四段</p> <p>吾桑 松坂美緒音 須南 田中碧空 佐古 田村健悟 吾桑 高橋蒼來 須崎 金堂莉李 馬路 小松太緒</p>	<p>須崎 津野聖佳</p> <p>★二段</p> <p>吾桑 吉門蒼馬 夜須 清藤 蘭</p> <p>★初段</p> <p>長岡 小笠原 湊 吾桑 宮崎穂花</p> <p>★六級</p> <p>上分 ○中山ゆめ</p> <p>もうひつ二年</p> <p>審査 西森 令泉</p> <p>★五段</p> <p>須崎 毛利香花</p> <p>★四段</p> <p>浦ノ内 正木芳尚 須崎 領木あみ 須崎 田村紗雪</p> <p>★三段</p> <p>上分 梅原未来</p> <p>★二段</p> <p>岡豊 島村心遥</p>	<p>多ノ郷 太田朋希 長岡 押岡息吹 長岡 竹内伽菜心</p> <p>★初段</p> <p>多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太</p> <p>★二級</p> <p>吾桑 ○長山優奈</p> <p>★六級</p> <p>越知 ○藤崎かの</p> <p>もうひつ一年</p> <p>審査 天野 喜泉</p> <p>★三段</p> <p>須崎 金堂すず</p> <p>★二段</p> <p>多ノ郷 森光れんたろう 須南 宮本はるま 上分 吉村はるか</p> <p>★初段</p> <p>吾桑 高橋依吹 しんじょう 中じまあやと</p>	<p>多ノ郷 橋田かほ 上分はし田いちか</p> <p>★二級</p> <p>朝倉○根口この花</p> <p>★四級</p> <p>須南 ○田中にこ 岡豊 ○西みやとうま 岡豊 ○島村昇冨 岡豊 ○中司みのり 須崎 谷口ぎずな</p> <p>もうひつ ようち・ほいく</p> <p>★初段</p> <p>吾桑 松坂望未</p> <p>★五級</p> <p>上分 ○なかじまゆいと</p> <p>★八級</p> <p>ふたば 後藤和葉</p> <p>★九級</p> <p>須崎 ○こんどうこな</p>	<p>★十級</p> <p>池川 ○鶴井遥都</p>
--	--	---	---	---	----------------------------

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

# 第685回硬筆成績

○印は昇級

## 硬筆六年

審査 森本 寿山

★特待生

長岡 森田千春

久礼 中平千友

上分 西森美陽

浦ノ内 美島乙世花

浦ノ内 宮本心太

浦ノ内 森田沙和良

浦ノ内 岡本大陸

浦ノ内 池田毬乃

★九段

越知 米澤知那

岡豊 岡上真里

須崎 久保田湧乃介

越知 片岡絢女

★八段

南 奥崎誠真

★六段

浦ノ内 寺田 澤

★五段

上加 後藤まなか

★四段

上加 政岡希子

岡豊 西田紗菜

浦ノ内 田中日向

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

浦ノ内 浦ノ内

★八段  
久礼 濱田 奏

★七段

長岡 高芝仁貴

馬路 牛窓環菜

上分 朝比奈来夢

上分 弘田美結

多ノ郷 森岡快晴

★六段

長岡 二宮嘉奈子

藤沢 駒崎愛恵

★五段

浦ノ内 森田大翔

越知 大原瑠心

須崎 西山あい

須崎 竹村奏佑

★四段

上加 政岡明里

★三段

須崎 川西桜空

大谷北 山崎流依

城東 持田和花

須崎 浅野蒼空

須崎 川西蒼空

須崎 浅野由梨

須崎 浅野由梨

須崎 浅野由梨

★二段  
大谷北 倉持陽向

★八段

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

大谷北 大木柚杏

★五段  
上分 田邊璃音

越知 片岡杏璃

岡豊 西宮咲希

浦ノ内 森田 葵

★四段

江ノ口 下村亜李衣

浦ノ内 山本彩喜

浦ノ内 梅原蒼葉

須崎 田村拓海

岡豊 島村倅空

浦ノ内 矢野華絵

浦ノ内 山岡隼士

浦ノ内 柳本稀衣

★三段

浦ノ内 久保田健介

浦ノ内 須賀勇介

浦ノ内 安並乃愛

浦ノ内 岩田愛菜

浦ノ内 森田理央

★二段

岡豊 田所萌羽

岡豊 中司こころ

★初段

別府 後藤 樹

藤沢 駒崎信慈

浦ノ内 中田翔音

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙  
書道用具萬般乞来店

(株) 

高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番

(出品票) のり代 6年 5月 幅 氏名 臨書は出典名

こっひつ 硬筆三年		審査 野中 恵花		★七段		長岡 森田実咲		★六段		夜須 西村朝陽 小高坂 川西康介 須崎 谷脇愛來		★五段		佐古 田村健悟		★四段		須南 田中碧空 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋蒼來 須崎 津野聖佳 須崎 蕪田コモモ 久礼 金堂莉李 須崎 今橋なのは 越知 米澤はると 夜須 清藤 蘭		★三段		浦ノ内 中平滯里 越知 西森優奈 久礼 黒原小夏 上加 出来あや音							
馬路 木下歌乃		★二段		吾桑 宮崎穂花 吾桑 吉門蒼馬 上分 橋田陸		久礼 笹岡玲斗 馬路 栗坂明日香		★初段		大谷北 大木陽澄 長岡 小笠原溱 吾桑 笹岡蒼馬		越知 大原ほのか		★二級		池川 ○北村日和 池川 ○片岡亜季紗		★五級		奈路 ○植野 新 長岡 溝淵蒼功		★六級		久礼 ○堀田瑛太		★八級		上分 ○中山ゆめ	
★新規		九級編入		久礼 西村波琉		こうひつ二年		★五段		浦ノ内 正木芳尚 須崎 毛利香花 須崎 領木あみ		★四段		★三段		浦ノ内藤田いろは 浦ノ内森田わかな 浦ノ内山本みずき 浦ノ内 池田理人 江ノ口下 村垂弥衣 上分 梅原未來		★二段		多ノ郷森光梨衣奈 多ノ郷 太田朋希 岡豊 島村心遥 越知 藤崎かの 長岡 竹内伽菜心 久礼 池川ゆうま		★二段		多ノ郷森光梨衣奈 多ノ郷 太田朋希 岡豊 島村心遥 越知 藤崎かの 長岡 竹内伽菜心 久礼 池川ゆうま					
久礼 倉下かなる		長岡 宮脇治太		長岡 坂本大和		★初段		久礼 日林ゆあ 上加 吉原あや人 上加 片山ひまり 吾桑 長山優奈 久礼 松山まりん		★二級		★四級		★二級		久礼 ○黒原小春		こうひつ一年		★三段		須崎 金堂すず		★二段		上分 吉村はるか 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 森光れんたろう			
須南 宮本はるま		多ノ郷 橋田かほ		★初段		久礼 黒原りか 浦ノ内徳永はやと 浦ノ内山岡みずぎ 朝倉 根口この花 上分はし田いちか 浦ノ内岡林ゆい花 しんじょう 中じまあやと		★一級		須南 田中にこ		★二級		池川 ○上村心晴 池川 ○北村心暖 池川 ○片岡紗雪		★三級		奈路 ○植野 葵 池川 ○伊藤日向		★四級		吾桑 ○鈴木 花 須崎 ○谷口きずな		★五級		久礼 ○政岡ゆみ			
岡豊 ○中司みのり		久礼 ○下谷ことは		★六級		岡豊 ○島村昇冴 岡豊 ○西みやとつま ★七級		★七級		長岡 ○金堂こうすけ 上加 ○木村ひらと		★新規		十級編入 久礼いわせわたる 久礼 小林なほ 久礼 こんどうみのり 馬路 木下かいと		★二級		審査 中平 美峰		★二段		吾桑 梅原由菜 吾桑 松坂望未		こうひつ ようち・ほいく		吾桑 松坂望未			
★初段		浦ノ内 よしおかまひろ		大間 坂本美咲		★三級		浦ノ内 ○宮田いと		★四級		★五級		★六級		浦ノ内 中平ゆうだい ふたば 後藤和葉		★八級		須崎 ○こんどうこな		★二級		吾桑 梅原由菜 吾桑 松坂望未		こうひつ ようち・ほいく		吾桑 松坂望未	



(出品票)

のり代

6年  
5月  
規定

地名

氏名

段

級

のり代

6年  
5月  
随意

臨は出典名

氏名

段

級

# 習字

字を習うと気が落付いてくる。熱心に習えば雑念がなくなる。習字が修養になるのはまづここにある。人の観心を得られるような字を書こうとか、展覧会に出品して優賞を得ようとかいう考えで筆を執る時は、決して気が落付くものでない。あせればあせるほど拙劣になる。雑念は習字の敵である。

忙しい人は心の転換として習字をするがよい。暇な人は精神の緊張を図るために習字をするがよい。運動は、肥った人は瘠せ、瘠せた人が肥るように、習字は忙しい人にもよく、暇な人にもよい、高尚な趣味である。

上手にならぬからといって習字を廃するのは、真の趣味を解せぬからである。習字の趣味は決して手先の器用ばかりの問題ではない。その背景たる精神を養うことが、上手下手を問わず最も肝要とするところである。

(龍跳創立50周年特別号より)

中国文房四宝  
 国産書道用品  
 久保田号銘筆

有限  
会社

〒780-0818 高知市宝永町3-3

TEL (088) 882-1454

FAX (088) 884-7413



池川千晶氏



萩野羽花氏

この度は師範の認定をいただきありがとうございます。  
大変嬉しく思っております。岡林邦心先生の熱心なご指導と励まし、そして同じ教室で一緒に学ぶ皆様の支えがあつてこそ、この結果を得ることができました。心から感謝申し上げます。  
今後もさらなる技術の向上と、書道の素晴らしさを広めるために努力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

對酒不覺暝落峯盈我衣  
醉起步溪月鳥還人亦稀

この度は、準師範の認定を頂きありがとうございます。  
母の誘いもあり、集中力の鍛錬にも良いのではと一念発起。以来、書道の奥深さに魅了されております。  
これからも頑張つてまいりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

君去春山誰共遊鳥  
啼花落水空流

のり代	
6年 5月 毛筆	
校名	
学年	
保年	
氏名	
段級	



田村眉州氏



鎌倉春葉氏

この度は準師範に認定して頂きましてありがとうございます。  
 これも熱心に温かく御指導して下さいる隅田先生や励まし合いながら練習している方々のおかげと感謝しております。  
 子育ても一段落して何十年ぶりに再開した「書」ですが「継続は力なり」をモットーに楽しく頑張っていきたいと思えます。

君去春山誰共遊鳥  
 啼花落水空流

令和六年春季昇段級試験において準師範に認定を戴き誠にありがとうございます。御座居ました。  
 龍跳書道会「須南教室」へ入会し諸先生方や小川先生の熱心なご指導と書友の皆様と「切磋琢磨」学びを共にしてきたお陰と深く感謝して居ます。  
 今後とも御指導の程よろしくお願い申し上げます。

君去春山誰共遊鳥  
 啼花落水空流

のり代	
6年 5月 硬筆	
校名	
氏名	
段級	



山 川 百 合 氏

この度は準師範に認定していただき誠にありがとうございます。  
出間先生の温かい御指導と、大八木先生のきめ細かな御指導のおかげだと、深く感謝しております。  
書の魅力を少し感じはじめたのですが、教えていただいた事柄を作品に出せず、日々悶々としています。  
努力を重ね、精進していきたいと思います。  
今後とも御指導よろしく願います。

瞻 剛 如 鐵 操 緊 明 霜  
酌 龍 豹 之 神 韜



毛筆の部



南中学校 二年  
竹内 雄 星

この度は、特待生に選んで頂きありがとうございます。  
七年間、野中先生に教えて頂き特待生になれてとてもうれい  
す。  
さらに上手になれるように頑張ります。

硬筆の部



浦ノ内小学校 六年  
池田 毬 乃

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。  
私は保育園からこう筆を習い始めました。最初は「字がきれいに  
かけるかな。」と思っていましたが今回特待生に選んでいただきと  
てもうれいです。  
これからも字をていねいに書いていきたいです。



長岡小学校 六年  
猪野 雛 子

今回は、特待生に選んでいただきありがとうございます。私は、  
一年生のころから硬筆を習いはじめました。そして、一年生の時か  
ら一度も段を落とさないのでここまでこれてほんとうにうれい  
す。  
これからも、字をきれいに書くことを忘れずに、ていねいに書  
くことを気をつけていきたいです。



浦ノ内小学校 六年  
岡本 大 陸

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。  
ぼくは、保育園のころから硬筆を習い始めました。初めは、字  
がきたなく、たまにいやでサボった事もありました。ですが、2  
年生のころからは、まじめにやり今回特待生に選んでいただきま  
した。これからも字をきれいに書けるようがんばります。

( 新 特 待 生 紹 介 )



上分小学校 六年  
西 森 美 陽

今回は特待生に選んでいただきありがとうございます。  
私は一年生になり、字を書いているうちにもっと上手になりたい  
と思い硬筆を習い始めました。思うように書けない時もありまし  
たが石川先生にアドバイスをいただきながらたくさん書いて特待生に  
なれたんだと思います。  
中学生になってもきれいな字で書いていきたいです。  
石川先生、今まで本当にありがとうございます。これからもよ  
ろしく願います。



長岡小学校 六年  
安 井 風 葵

今回は、特待生に選んでいただきありがとうございます。特待生  
になることは難しかったけど、6年間がんばってなることができま  
した。私は、小1のころからやりはじめて小6までつづけられて、  
がんばってこれてよかったと思います。小さいころ字がとくいで  
なかったしうまく書くことができなかったけど、習っていてうまく  
なったのでよかったです。これからも、きれいな字を書いていき  
たいです。



浦ノ内小学校 五年  
宮 地 輝 翔

今回は、特待生に選んでいただきありがとうございます。  
ぼくは、保育園のころから、習い始めました。始めはうまく書  
くことができなかったけれど松崎先生の指導によりうま  
く書けるようになりました。小学生になり、賞をもらえるようにな  
ってとてもうれしかったです。九段になると特待生のかべは高  
く大変でした。けれど、昇段試験に向けてたくさん練習をして、合格  
できました。これからも、字をていねいに書きつづけてい  
たいです。



連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田巨心

龍跳書道会

兼崎口座敷町

01690-3-31925

電話(〇八八九) 三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五-八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九-二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二-三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九) 四七-〇七二一番

あとがき

本年3月13日高知新聞「声ひろば」に、龍跳誌の送本を担当されている野中恵花先生の息子さんである野中泰佑さんが「書家と碑文」を読んで、「と題して投稿されました。」

その中で、祖父は龍跳書道会を創設された竹村子雀先生に師事したこと、父や母も町田碧峰先生に師事し、自身も書を学んできた事を紹介されています。

そして、書に触れ学んできた事で「物事に打ち込む力が付いてきた」とも書かれていました。私自身感銘を受けましたので報告し、龍跳書道会をも紹介していただいた事にお礼を申し上げます。

本誌4月号には、春季昇段試験合格者が発表されています。合格された皆さんおめでとうございます。今回の試験も30名程の先生方で、午前8時頃から午後3時頃まで審査にあたってきました。参加された先生方おつかれさまでした。

# 月例競書課題

保 育	" 一年	" 二年	" 三年	" 四年	" 五年	小学六年	" 一年	" 二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別
						五月の空	ペン習字	田園都市	海流黒潮	任意	親朋盡一哭	任意	縮切日 五月二十日
み ち	あ ゆ	人 形	夕 ぐれ	魚 つり	大きな船	池の木立	学校放送	港の風景	任意	鞍馬去孤城	任意	縮切 六月二十日	

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山宛

電話 (088) 895-8857

## 会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 Ⓒ+Ⓐ=290円×月数

17冊 Ⓒ+Ⓑ=360円× "

30冊 Ⓒ×3=630円× "

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分  
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉雲

野島 桂山

野島 桂山

江西 澄翠

江西 澄翠

中平 美峰

中平 美峰

発行人

福原 曉雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (088) 291-2650

電話 (088) 291-2650

電話 (088) 291-2650

発行所

龍跳書道会

電話 (088) 291-2650

電話 (088) 291-2650

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (088) 421-2444

電話 (088) 421-2444

電話 (088) 421-2444